



Jichi 地域連携ニュース

- ・放射線治療の均てん化……………若月 優
- ・自治医科大学附属病院医師同門会について
- ・ハローワーク宇都宮による治療と仕事の両立に関する相談会について
- ・FAXによる患者様紹介について

放射線治療の均てん化

中央放射線部 教授 若月 優



2016年4月に、中央放射線部/放射線科の教授を拝命いたしました若月優と申します。よろしくお願いたします。私は、2002年に群馬大学医学部医学科を卒業し、群馬大学や虎の門病院、放射線医学総合研究所など関東の様々な病院で研鑽を積ませていただき、この度機会をいただき自治医大に赴任させていただきました。栃木県の放射線治療の益々の発展のために頑張っていきたいと考えております。

さてこの度は、自分が以前より継続的に行っている学外の活動についてお伝えしたいと考えて筆を執らせていただきました。

私は放射線医学総合研究所に勤務しておりました2011年からアジア原子力協力フォーラム (FNCA) の放射線治療プロジェクトに関わってきております。FNCAは近隣アジア諸国との原子力分野の協力を効率的かつ効果的に推進する目的で日本が主導する原子力平和協力の枠組みで、放射線治療プロジェクトではアジア11か国が参加しております。この放射線治療プロジェクトはアジア地域における放射線治療の均てん化を目的としており、アジア地域に比較的高頻度に発生する疾患である上咽頭癌、子宮頸癌、乳癌などを対象に、国際的な他施設共同臨床試験を通して、アジアの発展途上国における放射線治療レベルの向上・標準化を行っております。実際の活動としては、各国に訪問調査として、実際の放射線治療現場における放射線治療機器の使用状況を確認し、放射線治療の品質を確保する作業 (QA/QC) と、年1回開催のワークショップにおいて、臨床試験の進捗状況の確認・結果の解析、新たな臨床試験の開発、各国における市民公開講座を通しての放射線治療の普及活動などを行っております。

放射線治療はがん治療の他の分野 (外科治療・化学療法) などと異なり、高額な機器である放射線治療装置が必要であることや、安定した電気の供給を必要とするため社会インフラの整備が必須であることなどの問題点から、先進国と発展途上国で放射線治療の環境に大きな差が存在します。さらに発展途上国間だけでなく、同じ発展途上国内であっても地域により大きな差が存在しており、放射線治療の均てん化に大きな壁が存在しております。

昨年ワークショップが開催されましたインドネシアを例に挙げますと、約2億6千万の人口、1万3千をこえる大小の島々を抱えておりますが、放射線治療施設はわずか31施設となっております。インドネシアでは多くの国民ががんになっても放射線治療を受けるという選択ができず、運よく放射線治療を受けられたとしても、近くの医療施設で受けられる患者は一握りで、大部分の患者は海を越えて放射線治療施設に向かう必要があります。インドネシアは経済の発展とともに、近年放射線治療施設が急速に増えてきており、徐々に改善してきている状況ではありますが、まだまだ大きな問題を抱えております。また他のアジア・アフリカ諸国に目を向けると、インドネシア以上に放射線治療施設が不足している国が多く存在しております。

このような発展途上国の環境を見てきた中で、近年の欧米中心として形成されているEvidence Based Medicine (EBM) の考え方をどのように発展途上国と放射線治療の均てん化・標準化につなげるかに大きな問題を感じるようになりました。もちろん欧米や日本のような先進国において、EBMの考え方が均てん化・標準化のために非常に重要ですが、発展途上国でどのようながん治療を標準化していくかを考えていく際に、EBMだけでは十分な均てん化・標準化は成し遂げられないと考えております。FNCAの放射線治療プロジェクトでも現在までに8つの臨床試験を施行してきましたが、多くの問題点に直面してきました。それは経済的な面であったり、治療に関する考え方であったり、様々な面に及びます。このような経験を通して、発展途上国でのがん治療の均てん化・標準化を目指していくためには、アジアの発展途上国の現状に合わせた臨床試験を計画し、発展途上国の環境や経済面などに基づいた標準治療を開発する必要があると考えております。アジアの発展途上国の現状に寄り添った観点から、今後もFNCAなどの活動を通じて、発展途上国の放射線治療・がん治療の均てん化・標準化に尽力したいと考えております。

さて放射線治療の均てん化の面で日本に目を向けるとどうでしょうか？日本においても大都市圏や大学病院において、放射線治療は高度化し、がん治療の柱としての役割を務めることができるようになってきております。しかしながらまだまだ地方では、放射線治療施設の普及は不十分であり、放射線腫瘍医の人数も不足しているのが現状となっております。栃木県内に目を向けても、2次医療圏で放射線治療施設が存在しない地域（県東保険医療圏）が存在しております。また放射線治療専門医の数も14人しか存在せず、放射線治療を受けている患者の数も、隣の群馬県と比較したときに人口当たりの放射線治療患者数が三分の二程度となっております。日本においても特に地方における放射線治療の均てん化は一つの重要なテーマとなっておりますが、発展途上国や大都市圏とは異なった形での均てん化・集約化を図っていく必要があると考えております。自分の与えられた仕事の一つでもある、栃木県内の放射線治療の集約化・均てん化に向けての活動にも引き続き尽力していく次第です。また栃木県で地方における放射線治療のモデルケースを築き上げることができれば、日本における放射線治療の均てん化また未来におけるアジア・アフリカなどの発展途上国における放射線治療の均てん化のアイデアにつながるのではないかと考えております。

まだまだ若輩者ではありますが、非常に貴重な機会をいただき、多くの活動をさせていただいております。今後も自治医大のため、栃木県のため、日本のため、アジアのため、世界のために頑張っていきたいと考えております。



ハローワーク宇都宮による治療と仕事の両立に関する相談会について

毎月第2水曜日（13：30～15：30）にハローワーク宇都宮の就職支援ナビゲーターが自治医科大学附属病院に来院し、治療と仕事の両立に関する相談会を開催しております。

治療と仕事の両立などにお悩みの患者さんがいらっしゃいましたら、この相談会に関する情報提供をお願いいたします。詳しくは下記をご参照ください。

治療をしながら働きたい、 働き続けたい方へ

治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい！

通院しながら働きたい！

仕事復帰の不安を解消したい！



自分の病状にあった
仕事を見つけたい！

就職活動で、会社に
病気のことを伝える
べきか迷っている。

～治療と仕事の両立に関する相談会

日時：毎月第2水曜日午後1：30～3：30

対象者：在職中・(再)求職中の方、ご家族など

方法：完全予約制

*相談希望月の第1火曜日17時までに、お申し込み下さい

費用：無料

その他：*疾患の種類は問いません。

*県内外住所地は問いません。

*匿名でのご相談もお受けしております。

◇相談実施場所（自治医科大学附属病院内）

患者サポートセンター医療福祉相談室

予約連絡先 0285-58-7107（直通）

事前のご予約！



院内で相談が
受けられます！



◇実施ハローワーク連絡先



栃木労働局 ハローワーク宇都宮

ハローワーク宇都宮 専門援助部門 電話028-638-0369 部門コード#45

◇後援：自治医科大学附属病院 患者サポートセンター

自治医科大学附属病院医師同門会について

当病院では、OB医師を中心に「自治医科大学附属病院医師同門会」を組織し、総会・懇親会の開催や会報の発行等を行っております。

入会の条件は、「①自治医科大学附属病院で、医師・歯科医師として勤務経験があること、②同会の趣旨に賛同していただくこと」の2点のみです。会費は3年間で1万円です。

これを機会に是非入会をお勧めいたしますとともに、皆様方の周囲に当病院OB医師がおられるときは、当会の存在をご案内くださいますようお願いいたします。

入会に関する連絡・照会先は次のとおりです。

自治医科大学附属病院 医師同門会事務局（地域医療連携室内） 担当：小島 一夫、加納 秀樹
TEL 0285-58-7463・0285-58-7461 / FAX 0285-44-5397 / e-mail byoushin3@jichi.ac.jp

FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただきますようお願いいたします。

FAX 事前予約受付（休診日を除く）月曜日から金曜日まで 午前9時～午後3時《厳守》

－ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は、事前に紹介元医療機関から地域医療連携室までご連絡ください。

< FAX 予約のご利用方法 >

1. 「紹介状（診療情報提供書）」および「FAX診療予約申込書」を作成し、当院あてにFAX送信してください。FAX診療予約申込書は、当院のホームページ（<http://www.jichi.ac.jp/hospital/>）よりダウンロードできます。
2. 当院では予約をお取りし、「FAX・紹介患者のお知らせ（返信）」と「FAX診療予約申込書」を返信します。
3. 患者様に「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療」予約票をお渡しくください。
4. 来院日には、「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証を持参し、医事課・FAX紹介状提示窓口に提示するようご案内をしてください。

